※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　商業科

教科	商業	科目	ビジネス経済	単位数	２	年次	２～３
使用教科書	「ビジネス経済」（商業３１６）（実教出版）						
副教材等	「ビジネス経済問題集」（商業３１６　ビジネス経済準拠）（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・毎回の授業が大切です。欠席しないようにしてください。
・ノートやワークシートをていねいに記入してください。
・定期的にレポート課題を与えます。
・授業では専門的な経済用語を紹介します。わかりやすく説明しますが、生徒のみなさんも経済用語を調べておくと、理解度が向上します。
・定期考査があります。授業の成果を十分に発揮してください。

２　学習の到達目標

現代経済において経済理論が果たす役割とそれを学ぶ意義を理解させる。
ビジネスに必要な経済に関する基礎的な知識を習得させる。
経済の仕組みや概念について理解させる。
経済に関する基礎的な理論を基に，経済事象を主体的に考える能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・現在の経済状態について関心をもち，その展望について自らの考えを整理する意欲や態度が身についているか。 ・基礎的なミクロ経済理論を基に，需要や供給の変化と価格や数量の関係などを主体的に考察する能力や態度が身についているか。 ・基礎的なマクロ経済理論を基に，景気の循環や経済政策の影響などの経済事象を主体的に考察する能力と態度が身についているか。	・経済活動に関する諸問題を理解し解決するために，日頃から自らの思考を深めているか。 ・学習した知識や見識を活用し，経済が抱える諸問題を適切に判断して，その解決について創造する能力が身についているか。 ・経済に関する自らの意見を的確に表現する能力が身についているか。	・経済に関するさまざまな情報や資料を各メディアから収集し，そのなかから適切なものを選択して，主体的に活用する能力が身についているか。	・経済に関する基礎的・基本的な知識と見識を身につけ，それを現実の諸問題に適用できる水準まで理解を深めているか。 ・経済社会におけるミクロ経済理論，マクロ経済理論の位置づけとその応用範囲について理解し，さまざまな経済に対する意見を参考に，主体的に自らの意見を発する能力が身についているか。
評価方法	・授業での発言 ・行動観察 ・ノート・ワークシート ・プリント ・振り返りシート	・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンス課題 ・授業での質疑応答	・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンス課題 ・授業での質疑応答	・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンス課題 ・授業での質疑応答

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	第1章　市場と経済	1節　資源配分のしくみ 1　さまざまな財 2　資源配分メカニズム 3　市場メカニズム 4　効率的な資源配分 5　組織による資源配分 6　市場と組織 7　市場経済と計画経済	○	○	○	○	a:資源の希少性を理解し，資源配分メカニズムに関心を持っているか。市場メカニズムの有効性を認識し，組織による資源配分との両立によってよりよい社会を築こうという意欲や態度を持っているか。 b:さまざまな場面で効率的な資源配分を念頭に思考・判断できるか。それぞれの財について，市場による資源配分と組織による資源配分のどちらを選択すべきであるか判断し表現できるか。 c:さまざまな財について，市場と組織の使い分けを考慮しながら最も効率的に配分する能力が身についているか。 d:さまざまな財の存在を生産や消費を通して理解しているか。資源配分のしくみとそれらの効率性、市場経済と計画経済についてそれらの相違点を理解しているか。	授業での発言 行動観察 振り返りシート ノート ワークシート 質疑応答 パフォーマンス課題 小テスト 定期考査
		2節　現代の市場経済とビジネス 1　現代の市場 2　市場と競争	○	○	○	○	a:金融市場の役割について，興味・関心があるか。 完全競争市場・独占市場・寡占市場・独占的競争市場の存在に関心を持ち，自ら現実の経済に照らし合わせながら理解しようとする態度を持っているか。 b:金融市場が持つ資源配分機能を理解した上で金融商品を判断できるか。市場の状態について，差別化の程度やそこに存在する企業数などを基に思考し，そこでひきおこされる効率性や弊害について判断できるか。 c:市場の状態を知ることから，正しい経営戦略の方向性を提案することができる。 d:金融市場の資源配分機能について理解しているか。差別化の度合いや参加企業数から，市場を分類する知識を持ち，それぞれの市場において，企業の取るべき方策について理解しているか。	授業での発言 行動観察 振り返りシート ノート ワークシート 質疑応答 パフォーマンス課題 レポート課題 小テスト 定期考査
前期	第2章　需要と供給	1節　需要の概念と需要の変化 1　財と市場 2　需要の概念 3　最適な消費行動 4　効用と消費量の関係 5　需要の変化 6　代替材と補完財 7　需要の弾力性	○	○	○	○	a:効用と消費量の関係について関心を持っているか。 b:価格と需要量の関係、限界効用逓減の法則、代替効果と補完効果について表現することができるか。代替財と補完財の意味を理解し，ある財の価格変更が他の財に及ぼす影響を判断できるか。 　需要の価格弾力性について表現し，合理的な価格決定を思考できるか。需要の所得弾力性について表現し，所得の変化による財の需要の変化を思考することができるか。 c:さまざまな財について，価格や所得の変化から需要量の変化を予測することができるか。 d:需要の概念についての知識を持っているか。 需要の変化が起きる要因を理解し，その影響について理解しているか。	授業での発言 行動観察 振り返りシート ノート ワークシート 質疑応答 パフォーマンス課題 小テスト 定期考査
		2節　供給の概念と供給の変化 1　供給の概念 2　限界費用 3　企業の最適生産 4　供給の弾力性	○	○	○	○	a:供給の概念について関心を持ち，供給の変化やその影響について科学的に論じようとする意欲や態度が身についているか。生産費の増減と最適生産の関係について関心を持っているか。 b:価格と供給量の関係、限界費用逓増の法則について表現することができるか。限界分析による最適化から，企業の最適生産を表現することができる。供給の価格弾力性について、さまざまな生産条件を加味しながら表現することができ，価格の変化による供給量の変化について思考することができるか。 c:企業の最適生産を限界分析から導くことができるか。さまざまな財について，価格の変化に対する供給量の変化を，その財の生産に関する条件から予測することができる。 d:供給の概念についての知識を持っているか。供給の変化が起きる要因を理解し，そこからもたらされる変化について理解しているか。	授業での発言 行動観察 振り返りシート ノート ワークシート 質疑応答 パフォーマンス課題 レポート課題 小テスト 定期考査

※令和３年度以前入学生用

前期	第3章　価格決定と市場の役	1節　価格決定のしくみ 1　市場の均衡 2　均衡の変化	○	○	○	○	a:需要と供給の関係から，価格や取引量を考察する態度が身についているか。均衡の変化について原因を理解し，その原因について考えようとする態度が身についているか。 b:需要曲線と供給曲線から均衡点・均衡価格・均衡取引量を導くことを具体的に表現できるか。市場価格が均衡価格から乖離した場合の価格のずれが解消される過程について，例示的・具体的に表現できる。 c:消費者の嗜好の変化などによる需要の変化が，価格にどのような変化をもたらすか説明する技能をもっているか。 d:均衡価格が決定する過程について理解しているか。市場価格が均衡価格から乖離する原因について理解し，乖離した市場価格が均衡価格に近づいていく過程を理解しているか。	授業での発言 行動観察 振り返りシート ノート ワークシート 質疑応答 パフォーマンス課題 レポート課題 小テスト 定期考査
	第4章　経済成長と景気成長	1節　CDP（国内総生産） 1　付加価値とGDP 2　日本のCDP 3　GDPと豊かさ 4　国民総生産 5　資本ストック	○	○	○	○	a:ＧＤＰの概要について関心を持ち，マクロ経済の代表的な指標として考察する態度を身につけているか。「豊かさ」について関心を持ち，さまざまな資料や指標から考察する態度が身についているか。 b:付加価値の合計や最終生産物の生産額などの観点からＧＤＰを表現することができるか。ＧＤＰと「豊かさ」について，現実の社会を例に適切に表現できるか。 c:極端に簡略化された数値モデルを用いて，付加価値や最終生産物という観点から，ＧＤＰを算出することができるか。 d:ＧＤＰの概略に対する知識を持ち，その算出方法の概念を理解しているか。経済の「豊かさ」を論じるための知識を身につけているか。	授業での発言 行動観察 振り返りシート ノート ワークシート 質疑応答 パフォーマンス課題 小テスト 定期考査
		2節　経済循環 1　家計と企業 2　政府と外国 3　三面等価	○	○	○	○	a:家計と企業，政府の三つの主体間の経済循環を外国とのかかわりも含めて考察する態度が身についているか。　経済循環の三面等価を論理的に理解しようとする態度が身についているか。 b:家計と企業の経済循環について生産物市場と生産要素市場の双方の観点から表現することができるか。経済循環のなかでの政府と外国の役割を表現することができるか。経済循環の三面等価について論理的に表現できるか。 c:経済循環について，家計，企業，政府，外国を例示して，的確に表現する技能を持っているか。 経済の三面等価について図や式を用いて表現する技能を持っているか。 d:家計，企業，政府，外国の経済循環について論理的に理解しているか。	授業での発言 行動観察 振り返りシート ノート ワークシート 質疑応答 パフォーマンス課題 小テスト 定期考査
前期	第4章　経済成長と景気成長	3節　物価と実質GDP 1　物価指数 2　物価上昇率 3　インフレーションとデフレーション 4　実質GDPと経済成長率	○	○	○	○	a:物価指数に関心を持ち，物価指数から物価上昇率を求める態度を身につけているか。インフレーションとデフレーションに関心を持っているか。　名目ＧＤＰと実質ＧＤＰの相違を理解し，経済成長率を論じる態度が身についているか。 b:物価指数を用い，物価変動を表現することができるか。経済成長率の意味を理解し，経済活動の活発さについて判断することができる。 c:物価指数から物価上昇率を求める技能が身についているか。　実質ＧＤＰから経済成長率を求める技能が身についているか。 d:物価変動をはかるための物価指数や物価上昇率などの知識を持っているか。インフレーションやデフレーションについて理解しているか。実質ＧＤＰと名目ＧＤＰについての知識を持ち，経済成長率の算出について理解しているか。	授業での発言 行動観察 振り返りシート ノート ワークシート 質疑応答 パフォーマンス課題 小テスト 定期考査
		4節　経済成長 1　日本の経済成長 2　経済成長の要因 3　日本経済を成長させるため	○	○	○	○	a:わが国の経済成長について関心を持ち，そこから学ぼうとする態度が身についているか。経済成長の要因について供給面からその考える態度を身につけているか。 b:戦後のわが国で起きた経済成長についてその原因を含め表現することができる。わが国の経済を成長させるための方策について思考し，論理的に表現することができるか。 c:わが国の経済を成長させるための方策を需要と供給の両面から論じる技能が身についているか。 d:戦後のわが国の経済成長についての知識を持っているか。わが国の経済成長を阻害する問題点に対する知識を持っているか。	授業での発言 行動観察 振り返りシート ノート ワークシート 質疑応答 パフォーマンス課題 小テスト 定期考査

※令和３年度以前入学生用

		5節　景気変動とインフレーション 1　景気変動 2　景気変動の要因 3　物価変動の要因 4　国際化と景気変動 5　景気変動の弊害 6　物価変動の弊害	○	○	○	○	a:経済が景気循環のどの局面にあるかということに関心を持ち，将来を予想する態度を身につけているか。供給の変化と景気の関係について関心を持っているか。景気変動や物価変動がもたらす弊害について関心を持っているか。 b:経済循環の各局面について表現できるか。需要ショックをひきおこす要因と有効需要の原理について表現でき，景気の各局面での方策を判断できるか。供給ショックによる景気変動について論理的に表現できるか。 c:需要ショック、供給ショックによる景気変動を論理的に予想する技能が身についているか。物価変動について論じる技能が身についているか。 d:景気循環、景気指標に関する知識と戦後の景気循環についての知識を持っているか。需要ショックによる景気変動について理解しているか。景気変動や物価変動がもたらす弊害を理解し，歴史的な知識を持っているか。	授業での発言 行動観察 振り返りシート ノート ワークシート 質疑応答 パフォーマンス課題 レポート課題 小テスト 定期考査
前期	第5章　経済政策	1節　財政 1　政府の役割 2　混合経済体制 3　国の予算制度 4　社会保障制度 5　税 6　財政赤字と国債 7　地方財政	○	○	○	○	a:資源配分機能，所得再分配機能，景気安定化機能に関心を持っているか。経済体制、予算制度に関心を持ち，直接税と間接税、国民負担率や国債依存度について関心を持ち，積極的にその問題を考察しようとする態度が身についているか。財政赤字に関心を持ち，その削減を考察しようとする態度が身についているか。 b:政府の役割について具体的に表現でき，正しいあり方について判断できるか。国の予算制度や社会保障制度の特徴と課題について表現できるか。国債依存のわが国経済について正しい認識を持ち，その原因についても正しく表現できるか。 c:わが国の予算制度の特徴と課題について，具体的に表現する技能が身についているか。わが国の国民負担率に関する技能が身についているか。 d:政府の役割について，資源配分機能，所得再分配機能，景気安定化機能のそれぞれの面から理解しているか。直接税と間接税のそれぞれについて機能や効果を理解しているか。地方財政について知識を持ち，その課題について理解しているか。	授業での発言 行動観察 振り返りシート ノート ワークシート 質疑応答 パフォーマンス課題 小テスト 定期考査
		2節　金融 1　ポートフォリオ選択 2　直接金融と間接金融 3　貨幣 4　日本銀行 5　預金通貨とマネーストック 6　準備預金制度 7　信用創造 8　金融政策	○	○	○	○	a:金融市場に関心を持ち，収益性やリスクから金融資産を分析しようとする態度が身についているか。貨幣の役割や日本銀行の役割について関心を持っているか。準備預金制度に関心を持っているか。望むべき金融政策について意欲的に考察しようとする態度が身についているか。 b:直接金融や市場型間接金融の長所と短所を判断できるか。貨幣の役割や日本銀行の役割について表現できるか。景気の局面に応じた金融政策を判断し表現することができるか。 c:収益性とリスクを考慮したポートフォリオ選択を行う技能の概念を身につけているか。経済の状況を的確に判断し，のぞまれる金融政策について論理的に考察する技能が身についているか。 d:貨幣について一般的交換手段，価値尺度，価値貯蔵手段という三つの側面から理解しているか。日本銀行に対する知識やマネーストックについての知識を身につけているか。準備預金制度や信用創造について理解しているか。近年のわが国の金融政策についての知識を有しているか。	授業での発言 行動観察 振り返りシート ノート ワークシート 質疑応答 パフォーマンス課題 レポート課題 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。